

特定復興再生拠点における 空間線量率調査結果について (富岡町)

2019/09/06

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福島環境安全センター

- 2019年7月9日～2019年8月1日まで、原子力規制庁からの委託事業の一環として富岡町における特定復興再生拠点内の無人ヘリ及び歩行による空間線量率調査を実施。
- 測定日の異なるデータは、2019年8月1日に物理的半減期による補正を実施し、空間線量率マップを作成。
- 無人ヘリによる測定データは、測定データ間を内挿補間し、50 mメッシュのデータとして、歩行による測定データは、測定データを20 mメッシュのデータとしてマップ化。

a) 無人ヘリ

無人ヘリコプター

ヤマハ発動機社製 FAZER



無人ヘリ搭載放射線検出器

LaBr3シンチレータ検出器

- ・検出器サイズ : 1.5" ϕ × 1.5" × 3本
- ・1秒毎に測定



b) 歩行サーベイ

地上測定放射線検出器

CsIシンチレータ検出器

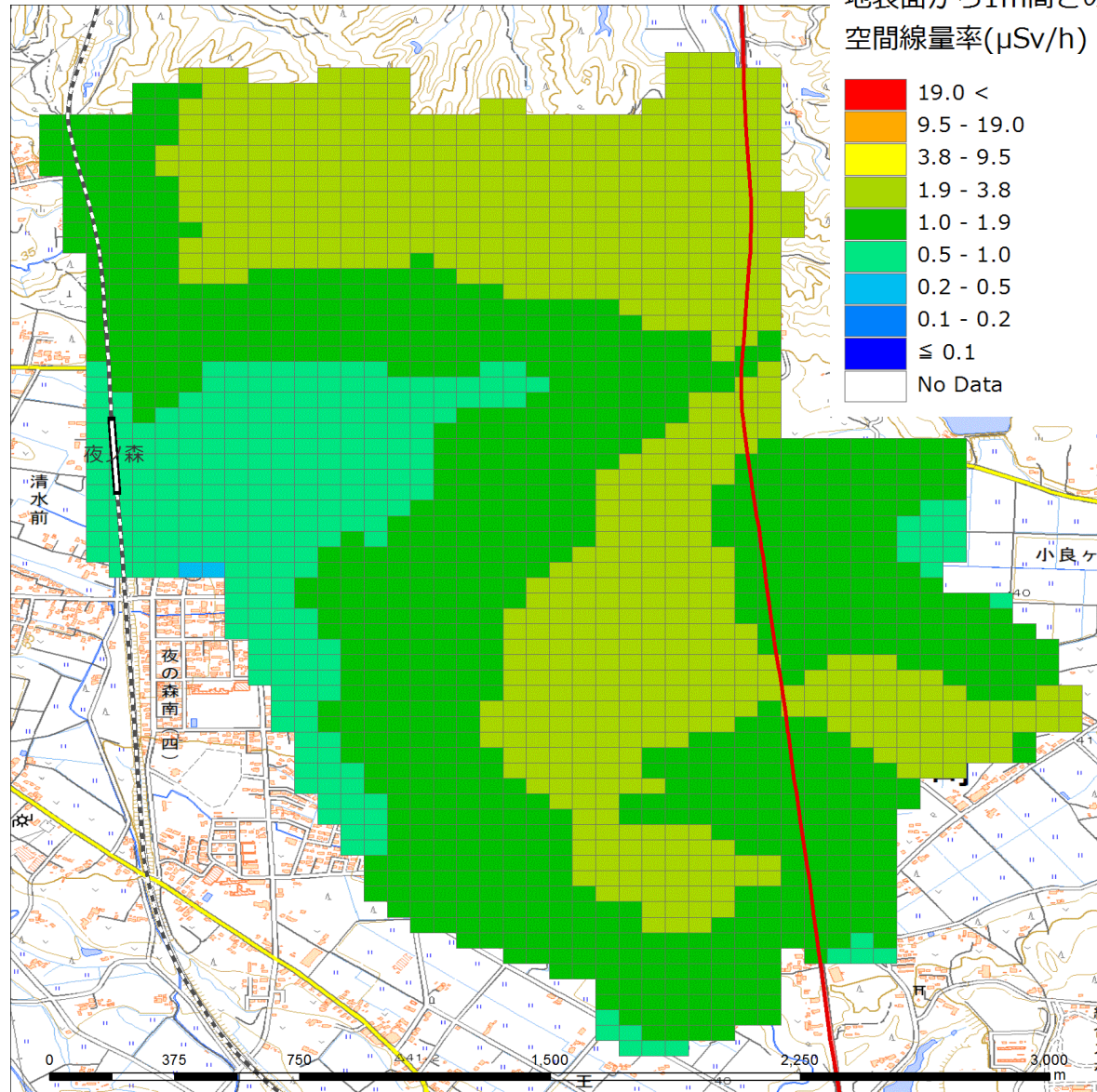
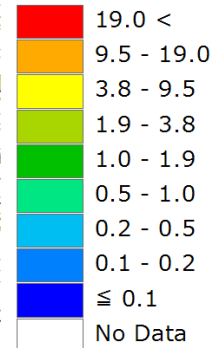
- ・KURAMA-II
- ・検出器サイズ : 13 x 13 x 20 mm
- ・歩きながら1秒毎に測定



a) 無人ヘリ

凡例

地表面から1m高さの
空間線量率($\mu\text{Sv/h}$)



b) 歩行サーベイ

